

三重県立総合医療センター 病院概要

(令和元年度)

令和元年10月1日現在



地方独立行政法人
三重県立総合医療センター

目 次

	ページ
1 基本理念・基本方針	1
2 主な取組・役割	2
3 総合医療センターの概要	
(1) 沿革	3～4
(2) 施設概要	5
(3) 組織	6
(4) 職員の状況	7
4 診療の概要	
(1) 各科別患者数の推移	8
(2) 手術件数の推移	9
(3) 分娩件数の推移	9
(4) 平均在院日数の推移	9
(5) 1日平均診療単価の推移	9
(6) 患者数の推移	9
5 決算の概要	
(1) 収益的収支の状況	10
(2) 資本的収支の状況	10

1 基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

受診される皆様の権利

- 1 人として尊重された最善の医療を受ける権利があります。
- 2 医療行為についての情報提供と説明を受ける権利があります。
- 3 患者の皆様の理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 4 診療情報の保護により、プライバシーを尊重される権利があります。

2 主な取組・役割

○救命救急センター

北勢保健医療圏における三次救急医療を担い、24時間365日体制で重症救急患者に対する高度・専門的な医療の提供を行っています。

また、二次救急医療を周辺病院との病院群輪番制方式により担うことで、休日・夜間における救急患者に対する医療を行っています。

○県がん診療連携拠点病院

手術、化学療法及び放射線治療を効果的に組み合わせた標準的・集学的治療を提供する拠点となる病院として「県がん診療連携拠点病院」に指定されています。

また、がん診療の推進に加え、地域医療機関と緊密な連携を図り、研修や情報提供を行うことにより、地域全体におけるがん医療水準の向上に貢献しています。

○特殊な感染症への対応

第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、県内で発生する特殊な感染症に対応しています。感染症専用の病床として、4床を確保しています。

○基幹災害拠点病院

地震、津波、風水害などの自然災害や大規模な事故などにより、多数の救急患者が発生した場合における救急医療を確保するため、重症・重篤な傷病者の受入など、医療救護活動の中心的な役割を担う基幹災害拠点病院の態勢を整えています。

また、四日市コンビナートに隣接する病院として、化学熱傷患者に対応するため除染装置などを備えるとともに、化学事故を想定した訓練を行っています。

○地域周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センターの認定（県内2箇所）を受け、北勢地域の基幹病院のひとつとして、ハイリスク分娩に対応しています。

また、平成25年4月からは周産期棟を増築し、NICU（新生児特定集中治療室）6床、GCU（継続保育室）12床で稼働し、平成26年2月からMFICU（母体胎児集中治療室）が5床で稼働しています。

○地域医療支援病院

地域医療支援病院運営委員会や病診連携運営委員会などの開催を通じて、地域医師会との連携強化や情報共有を図るとともに、紹介及び逆紹介を推進しています。

また、地域の医療従事者向けの講演会・研究会を積極的に開催し、地域の医療水準の向上に努めています。

○エイズ治療拠点病院

三重県北勢地域におけるHIV感染症診療を充実させることを目的として、院内に各部門で構成する「HIV診療委員会」を設置し、チーム医療を行っています。

○人材育成

医師の確保・育成においては、基幹型臨床研修病院として臨床研修医の育成に努めるとともに、後期研修医の受け入れを行い、専門医療による高度な知識技術の習得により、全人的医療を行える医師の養成を行っています。

初期・後期研修医数は44名（令和元年10月1日現在）となっています。

また、看護師の育成にあたっては、指導・相談活動を行う専門・認定看護師の要請に積極的に取り組み、水準の高い看護実践を通じて、看護の質の向上を図っています。なお、専門看護師2名・認定看護師19名（令和元年10月1日現在）が活動を行っています。

このほか、救命救急センターを併設する病院として、救急救命士の養成研修を受け入れています。

3 総合医療センターの概要

(1) 沿革

令和元年10月1日

平成 6年	10月	塩浜地区から移転し、「県立総合医療センター」開院 救急病院指定 身体障害者福祉法による更生医療指定病院承認 結核予防法指定病院の承認・生活保護指定病院承認 母子保健法による養育医療指定病院承認 臨床研修指定病院承認 保険医療機関指定承認 労災保険指定病院の変更承認・労災保険義肢採型指導医指定変更承認 労災アフターケア実施医療機関指定変更承認
7年	4月	N I C U施設認定
8年	2月	「エイズ治療拠点病院」指定
	4月	八代院長・宗行万之助就任
9年	1月	「災害拠点病院」指定（24年4月より「基幹災害拠点病院」指定）
11年	4月	九代院長・鈴木宏志就任 適時適温給食導入
12年	1月	西棟・手術棟完成
13年	3月	6階東病棟改修
	4月	「第二種感染症病床指定医療機関」指定 病床数（一般412床、救命救急センター30床、感染症4床）許可
	7月	セミオープンベット開設
14年	8月	「地域がん診療連携拠点病院」指定
	10月	十代院長：小西得司就任
15年	3月	「地域周産期母子医療センター」指定（N I C U 3床、G C U 7床）
	4月	「へき地医療拠点病院」指定
	8月	新オーダーリングシステム導入
	9月	救命救急センター H C U I C U C C Uに分離（I C U C C U 7床→6床）
16年	3月	日本医療機能評価機構による病院機能評価認定取得（Ver.3） パーキングシステム設置
	4月	患者相談窓口設置
	6月	外来化学療法室を開設（6床）
17年	11月	太陽光発電システム設置
18年	1月	緩和ケア外来開設
	8月	電子カルテシステム稼働（初代）
20年	3月	放射線治療システム（ライナック）設置更新
	4月	十一代院長：高瀬幸次郎就任
	4月	クレジットカード決済開始 災害用地下水供給システム設置
	7月	セカンドオピニオン外来開設
	10月	外来化学療法室の移転（2階）及び増床（6床→10床）
	11月	自治会との災害給水協定締結 血管造影撮影装置（心臓・頭腹部アンギオ）設置更新
21年	3月	三重D M A T派遣協定締結（三重D M A T派遣病院）
	4月	D P C（診断群分類包括評価制度）開始
	6月	日本医療機能評価機構による病院機能評価認定を取得（Ver.5）
	8月	がんサポート室開設
	10月	7対1看護基準取得
22年	6月	地域連携室「かけはし」移転開設（1階）
	10月	320列マルチスライスC T装置導入
23年	8月	電子カルテシステム更新（二代目）
24年	4月	地方独立行政法人化 法人初代理事長：高瀬幸次郎就任（院長兼務）
25年	3月	内視鏡棟増設（内視鏡センター設置）
	4月	周産期棟増設 N I C U増床（3床→6床）、G C U増床（7床→12床） 卒後臨床研修評価機構による認定取得
	6月	「地域医療支援病院」承認
26年	2月	M F I C U（5床）稼働
	5月	日本医療機能評価機構による病院機能評価認定取得（3rdG:Ver.1.0）
	11月	3.0 T（テスラ）M R I診断装置導入
27年	1月	3.0 T（テスラ）M R I診断装置運用開始
27年	4月	卒後臨床研修評価機構による認定取得
27年	9月	救急科設置
27年	10月	「北勢呼吸器センター」開設 「県がん診療連携拠点病院」指定
27年	12月	コンビニエンスストア開設
28年	4月	総合内科、消化器外科、乳腺外科設置
	9月	脳血管内治療科、脊椎脊髄外科設置
29年	4月	救急科を救急・集中治療科へ改組

平成	30年	4月	二代理事長：新保秀人就任（院長兼務）
		11月	小児外科設置
令和	元年	5月	手術支援ロボットダヴィンチXi導入
		6月	日本医療機能評価機構による病院機能評価認定取得（3rdG:Ver.2.0）
		9月	「高難度新規医療技術評価部」設置
			中央手術部内にロボット手術センター設置

(2) 施設概要

令和元年10月1日

① 標榜科 (25科)

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科

② 病床数

一般	409床
感染症病床	4床
救命救急センター	30床
計	443床

③ 本館敷地・建物概要

敷地面積	59,763.99㎡
建物規模	地下1階、地上7階、塔屋2階
建物構造	高層部SRC造、低層部RC造
建築面積	11,334.56㎡
延床面積	32,628.17㎡
駐車台数	約700台

④ 附属施設

医師公舎	RC2階建	延床面積	517.86㎡ (12戸)
看護師宿舎	RC3階建	延床面積	1,758.99㎡ (68室)
院内保育所	RC平屋建	延床面積	233.40㎡

⑤ 主な医療機器

3.0T(テスラ)MRI(平成26年)	1.5T(テスラ)MRI(平成28年更新)
320列X線CT(平成22年)	ガンマカメラ(平成21年)
頭腹部アンギオ、心アンギオ(平成20年)	ライナック(平成19年)
手術支援ロボットダヴィンチXi(令和元年)	

⑥ 厚生施設

食堂・自販機コーナー(7階)
コンビニエンスストア、自販機コーナー(1階)

⑦ 付帯設備

- ・医療情報システム(電子カルテシステム)
- ・気送管搬送システム
- ・屋上ヘリポート
- ・院外処方FAXステーション
- ・災害備蓄倉庫

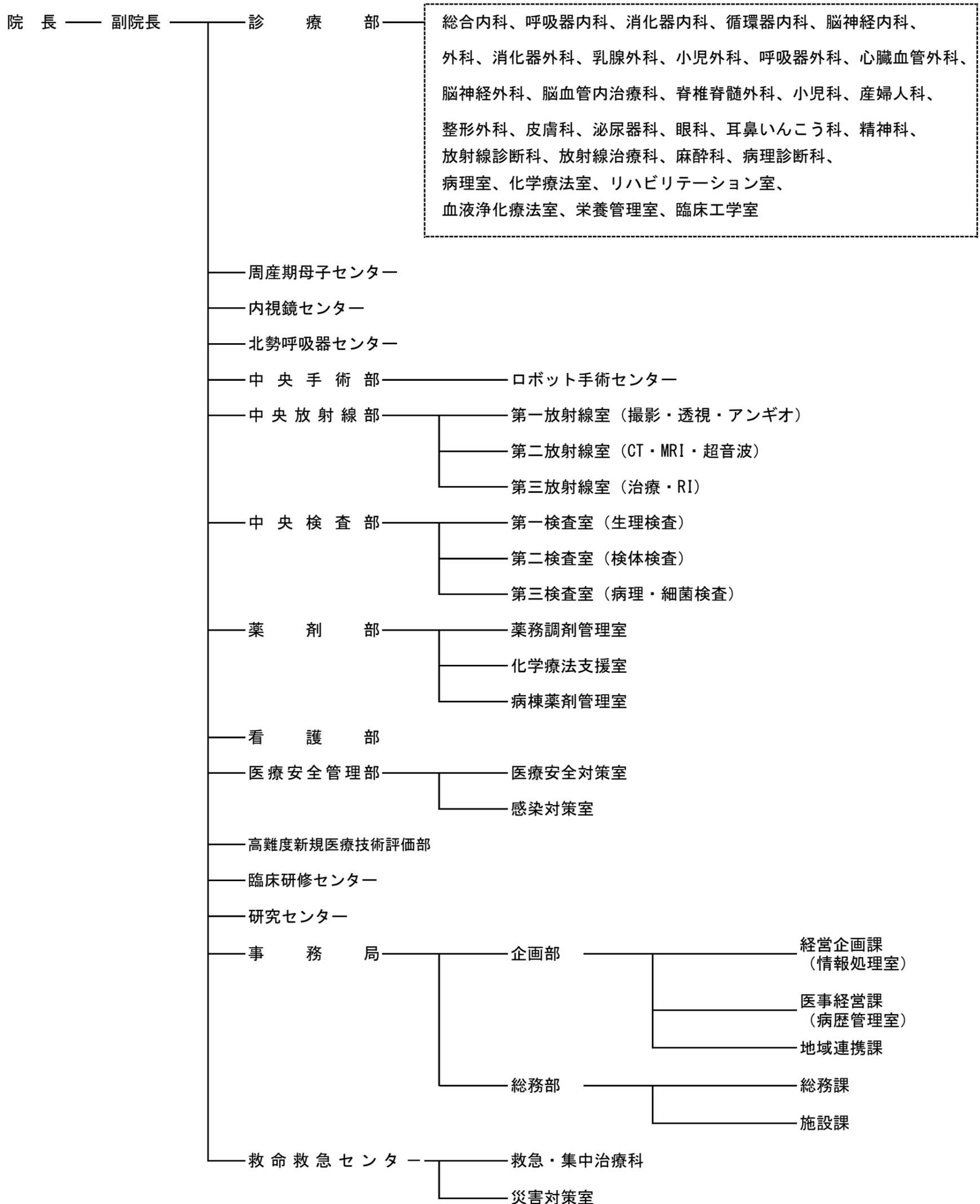
⑧ 指定医療機関状況及び主な認定状況(取得年度順)

- ・救命救急センター(平成6年)
- ・臨床研修病院(平成6年)
- ・エイズ治療拠点病院(平成8年)
- ・基幹災害拠点病院(平成9年)
- ・第二種感染症指定病院(平成13年)
- ・地域周産期母子医療センター(平成15年)
- ・へき地医療拠点病院(平成15年)
- ・三重DMAT派遣協定病院(平成21年)
- ・地域医療支援病院(平成25年)
- ・日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.2.0)(令和元年更新)
- ・卒後臨床研修評価機構による認定(平成27年取得)
- ・県がん診療連携準拠点病院(平成27年)

(3) 組織

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター 組織機構図

令和元年10月1日



(4) 職員の状況

令和元年10月1日

職 種		現 員
一 般 職	一 般 事 務 職	28
	電 気 技 師	3
	情 報 技 師	2
	建 築 技 師	1
	保 育 士	0
	医 師	118
	薬 剤 師	20
	管 理 栄 養 士	4
	臨 床 検 査 技 師	25
	診 療 放 射 線 技 師	25
	理 学 療 法 士	5
	作 業 療 法 士	3
	言 語 聴 覚 士	2
	臨 床 工 学 技 士	7
	臨 床 心 理 士	1
	看 護 師	423
	助 産 師	25
	准 看 護 師	1
	医 療 福 祉 技 師	6
	診 療 情 報 管 理 士	4
	保 健 師	0
	小 計	703
	現 業 職	病 院 施 設 管 理 員
看 護 助 手		0
小 計		0
合 計	703	

職 種		現 員
医 師	非 常 勤 嘱 託 医	0
業 務 補 助 職 員	看 護 師	64
	准 看 護 師	1
	看 護 助 手	15
	看 護 補 助	7
	臨 床 検 査 技 師	4
	診 療 放 射 線 技 師	2
	薬 剤 師	1
	管 理 栄 養 士	2
	言 語 聴 覚 士	0
	理 学 療 法 士	0
	事 務 員	37
	労 務 員	0
	保 育 士	0
	社 会 福 祉 士	0
	司 書	1
	小 計	134
	嘱 託 員	施 設 管 理 専 門 員
安 全 管 理 専 門 指 導 員		0
薬 剤 師		0
小 計		0
臨時職員(事務、理学療法士)		3
合 計	137	

4 診療の概要

(1) 各科別患者数の推移

(単位：人)

区 分		年 度				
		H 2 6 2014	H 2 7 2015	H 2 8 2016	H 2 9 2017	H 3 0 2018
総 合 内 科	入 院					
	外 来	6,456	5,591	5,964	6,107	7,153
外 科 合 計	入 院	15,638	16,478	16,286	15,092	14,439
	外 来	13,368	13,558	13,660	13,867	14,880
(消化器・一般外科)	入 院	—	—	15,518	14,552	13,626
	外 来	—	—	11,705	11,667	11,957
(乳腺外科)	入 院	—	—	768	540	639
	外 来	—	—	1,955	2,200	2,576
(小児外科)	入 院	—	—	—	—	174
	外 来	—	—	—	—	347
心 臓 血 管 外 科	入 院	2,173	2,349	2,212	1,854	2,270
	外 来	1,149	1,126	1,068	1,062	1,250
脳 神 経 外 科	入 院	10,943	10,718	11,284	12,773	11,865
	外 来	5,127	5,047	5,303	5,402	5,123
小 児 科	入 院	13,188	11,969	11,688	12,754	13,291
	外 来	16,404	16,865	16,134	14,359	14,386
産 婦 人 科	入 院	13,716	13,345	12,825	12,479	12,685
	外 来	17,513	17,793	18,071	17,765	16,717
整 形 外 科	入 院	11,605	11,908	12,346	12,410	12,465
	外 来	10,477	10,803	11,309	13,184	12,685
皮 膚 科	入 院	433	478	526	458	386
	外 来	5,754	6,631	6,067	6,088	6,167
泌 尿 器 科	入 院	2,444	2,518	2,695	2,342	2,208
	外 来	6,921	7,644	7,708	7,797	7,445
眼 科	入 院			8	5	6
	外 来	1,763	2,014	2,328	2,567	2,463
耳 鼻 い ん こ う 科	入 院	179			363	347
	外 来	2,577	4,468	4,142	4,445	4,084
精 神 科	入 院					
	外 来	3,836	3,584	3,410	3,299	3,115
脳 神 経 内 科	入 院	6,265	7,115	7,361	7,289	7,109
	外 来	3,580	3,600	3,618	3,737	3,338
循 環 器 内 科	入 院	7,707	9,382	12,200	12,890	10,570
	外 来	9,923	9,574	9,750	10,376	9,284
呼 吸 器 内 科	入 院	18,279	15,943	15,994	14,768	14,596
	外 来	10,174	11,001	11,503	12,115	11,783
消 化 器 内 科	入 院	9,352	8,034	12,093	11,633	13,906
	外 来	11,036	11,876	12,183	12,654	11,350
呼 吸 器 外 科	入 院	1,451	1,302	1,181	1,382	1,470
	外 来	380	352	332	314	397
放 射 線 診 断 科	入 院					
	外 来	1,235	1,658	1,663	1,658	1,726
放 射 線 治 療 科	入 院					
	外 来	1,531	1,779	1,390	1,312	1,614
(参考) 救命救急センター	入 院				383	667
	外 来				661	673
計	入 院	113,376	111,953	119,075	118,875	118,280
	外 来	129,204	134,964	135,603	138,769	135,633

※外科については、H28年4月1日より、「消化器・一般外科」と「乳腺外科」に分離し、さらにH30年11月1日より、「消化器・一般外科」から「小児外科」を分離

(2) 手術件数の推移

(単位：件)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
手術件数	5,323	5,313	5,549	5,679	5,730
(レフトペ-ス)	(内手術室実施 件数3,088件)	(内手術室実施 件数3,081件)	(内手術室実施 件数3,269件)	(内手術室実施 件数3,382件)	(内手術室実施 件数3,417件)

(3) 分娩件数の推移

(単位：件)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
分娩件数	354	313	313	276	290
(レフトペ-ス)					

(4) 平均在院日数の推移

(単位：日)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
日数	12.4	12.2	12.0	11.8	11.6

(5) 1日平均診療単価の推移

(単位：円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
入院	59,723	59,429	58,678	61,471	62,648
外来	19,815	22,280	19,375	19,884	21,191

(6) 患者数の推移

【入院】

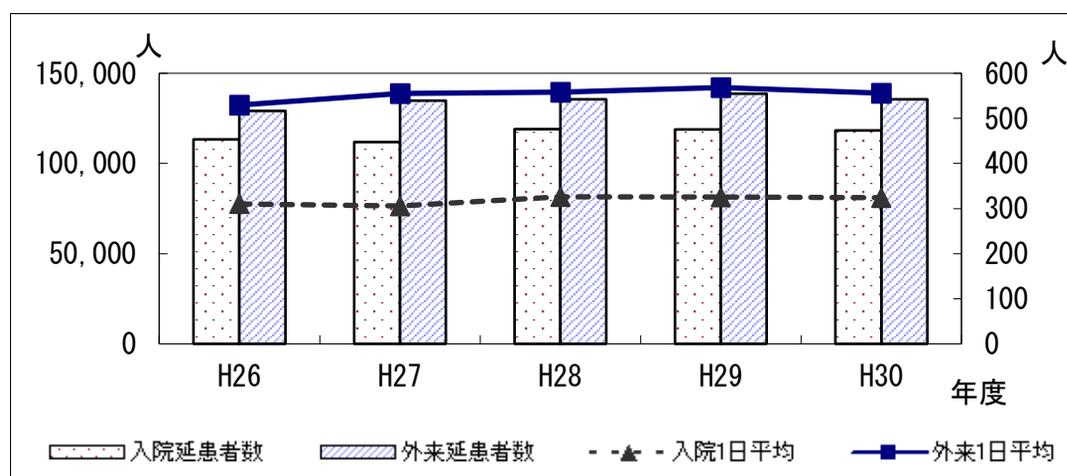
(単位：人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
延患者数	113,376	111,953	119,075	118,875	118,280
1日平均患者数	310.6	305.9	326.2	325.7	324.1

【外来】

(単位：人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
延患者数	129,204	134,964	135,603	138,769	135,633
1日平均患者数	529.5	555.4	558.0	568.7	555.9



5 決算の概要

(1) 収益的収支の状況

(単位：千円)

予算科目	H29決算	H30決算
営業収益	12,030,689	12,349,319
医業収益	10,281,749	10,558,529
入院収益	7,302,735	7,447,191
外来収益	2,780,669	2,919,116
その他医業収益	198,345	192,222
運営費負担金収益	1,704,570	1,739,791
補助金等収益	24,036	34,039
寄附金収益	0	0
資産見返補助金等戻入	8,737	9,794
資産見返寄付金等戻入	100	100
資産見返物品受贈額戻入	780	780
受託収入	10,717	6,286
営業外収益	217,428	218,583
運営費負担金収益	137,855	119,978
補助金等収益	483	5,407
財務収益	503	1,212
営業外雑収益	78,587	91,986
臨時利益	120	0
営業費用	11,078,403	11,457,536
医業費用	10,674,270	10,958,398
給与費	5,632,838	5,711,415
材料費	2,710,720	2,818,562
経費	1,587,718	1,680,908
減価償却費	700,342	704,154
たな卸資産減耗費	3,648	2,839
研究研修費	39,005	40,520
一般管理費	404,133	499,138
給与費	330,506	412,995
経費	72,588	84,175
減価償却費	1,038	1,968
営業外費用	600,852	584,744
財務費用	208,206	181,199
移行前地方債利息	202,063	175,974
長期借入金利息	6,144	5,225
その他支払利息	0	0
修学資金貸与費	36,750	33,060
控除対象外消費税等	322,684	337,873
資産取得に係る控除対象外消費税償却	33,084	31,038
営業外雑損失	128	1,574
臨時損失	0	0
営業損益	952,286	891,783
経常損益	568,862	525,622
純損益	568,862	525,622

(2) 資本的収支の状況

(単位：千円)

予算科目	H29決算	H30決算
資本的収入	604	343
長期借入金	604	343
国庫補助金等	0	0
運営費負担金	0	0
資本的支出	1,624	1,707
建設改良費	634	403
移行前地方債償還債務等償	990	1,004
投資有価証券購入費	0	300
資本的収支差額	△ 1,020	△ 1,364

※四捨五入の都合で、各項目と合計は一致しない場合があります。